

# 誰でもできる「まちづくり」

～ 考えることから始めよう ～



「まちづくり」と聞くと、堅苦しい、お役所の人ができることなどと考えがちではありませんか？今回は、誰でもできる「まちづくり」と題して、その考え方を紹介します。

突然ですが、皆さん、「タイムマシーン」は知っていますか。

そう、アニメのドラえもんや映画のバック・トゥ・ザ・フューチャーなどに出てくるあの「タイムマシーン」です。



今日は、少しお時間をいただいでタイムマシーンに乗ってみましょう。

それでは、少し過去に遡って 10年前の「2011年（平成23年）」へ行ってみよう！


何が見えますか。

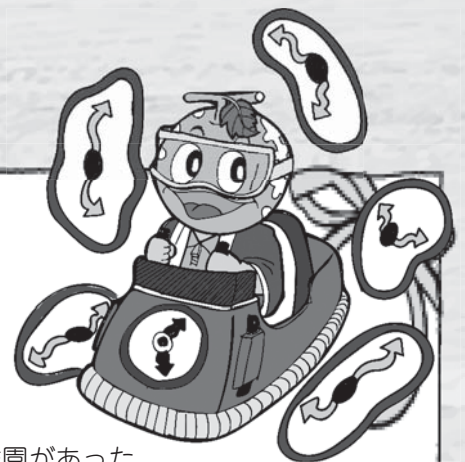
現在と比べると、まだまだ携帯電話はフューチャーフォン（ガラケー）で話をしていますね。お金も現金が中心で電子マネーなどもあまり普及していません。自動車もハイブリッド車や電気自動車は少ないようです。

世間では…

- ・「スマートフォン」が普及し始める 
- ・「Facebook」の利用者増、「LINE」誕生 
- ・東日本大震災による計画的な節電
- ・米からパンを作る家電「GOPAN」のヒット
- ・「日清カップヌードルごはん」などが話題

月形町では…

- ・小学校2校と幼稚園があった
- ・コンビニエンスストアは2軒あった
- ・光回線とIP電話のサービス開始
- ・北郷で「クジラの化石」が発見された 
- ・当時みらい大橋はまだありません



今度は 10年後の未来「2031年（令和13年）」に行ってみよう！

どうでしょう。何が見えますか。

あらゆる分野で技術革新が進み、事務系の職種では、オペレーターを残してほとんどの通常の事務はAIやRPA（※1）など、コンピューターが行っています。以前の「働き方改革」に象徴された働き過ぎる日本人も帰宅時間は随分と早くなりました。男性の家事・育児への参画も増えるなど、充実した生活によるワークライフバランス（※2）の好循環も生まれてきているようです。

- ・車のほとんどが自動運転になっている
- ・トラクターは無人で畑を耕している
- ・病院ではオンライン診療や遠隔手術が行われる
- ・荷物の宅配がドローンによって行われる
- ・教育ではオンライン授業が充実、地方でも質の高い教育が受けられる

- ・コンビニエンスストアなど一部の店舗は無人になる
- ※1 AIとは人工知能のこと。RPAとは ロボティック プロセス オートメーション「Robotic Process Automation」の略。PCなどを用いる一連の作業を自動化できる「ソフトウェアロボット」のこと
- ※2 ワークライフバランスの好循環（①と②の循環）
  - ①生活の充実によって仕事がかたどり、うまく進む
  - ②仕事がかたぐれば、私生活も潤う



考えてみよう



先ほどの6ページに載っているタイムマシンの旅は、私が想像するタイムマシンの旅です。

それでは、今度は皆さんそれぞれのタイムマシンに乗ってみて、10年前の過去と10年後の未来を見てみましょう！（それぞれ5分ほど考えてみてください）

① 10年前へ

【2011年（平成23年）】  
想像していなかったけれど、今起きていることはなんだろう？

5分考える

② 10年後へ

【2031年（令和13年）】  
2031年、私たちの生活はどうなっている？どんなことが起きているのでしょうか？想像してみましょう。

5分考える



皆さん、それぞれのタイムマシンの旅はいかがだったでしょうか。

さて、この「タイムマシンの旅」と「まちづくり」にはどんな関係があるのでしょうか。「タイムマシンの旅」を通じてお伝えしたかったことは…

「10年後の未来を考える」

ということなのです。

「10年後の未来を考える」ためには、「10年前から現在までの変化の大きさを知る」ということです。「これまでの10年間の変化の差を踏まえて、これからの10年後の未来を予測する」ということになります。

もう少し付け加えると「10年を超える未来は、変化が大きすぎて予測が難しい」「5年だと近すぎて変化に対応する時間が無い」と言われています。ICT技術の発達など時代の流れが速くなっていることを考えると、「10年」よりももっと短い周期で未来を考える必要性も出てくるかもしれませんね。



ステップアップ①【選択・決断】

「10年後の未来」を考えていただいただけでも、すでに「まちづくりをはじめた」と言っているのではないのでしょうか。

それでは、もう少しステップアップしてみましょう。

今、想像した未来は「良い未来」でしたか、それとも「悪い未来」でしたか。どちらが正解ということではなく、どちらも必要な想像力です。

今度は、10年後の「最高の未来」と「最悪の未来」を想像してみてください。（それぞれ5分程度考えてみてください）

ここで考えていただきたいのは、「良い・悪いどちらの未来にも向かう可能性がある」ということです。

もしかすると、このまま「何もしなければ最悪の未来に進む」かもしれません。「最高の未来を実現するためには多くの壁がある」かもしれません。考え方の一つとして

【選択するのはあなた】

「今、変化しなければどうなるか」を基準に考えると分かりやすいかもしれません。そして、大切なことは良い未来、悪い未来になるように「選択するのはあなた自身」ということです。





## ステップアップ② 【行動】



さて、向かうべき未来も見えてきました（選択・決断しました）。

次に考えるのは、あなたが考えた未来をどのように行動すれば実現できるのかということです。

その未来を実現させるためには、どんな「課題」がありますか。あまり時間をかけずに、思いつくままにたくさん書き出してみるといいと思います（ここで5分ほど考えてみてください）。

どんな課題が出てきたでしょうか。ここまで考える、せっかくなので、それを誰かに話したくなりませんか。それを近所さん、職場、地域などで話し合つと、もう、まちづくりの行動は始まっていますね。

### まとめ

皆さん、タイムマシンの旅にお付き合いました。ありがとうございました。

実は、このような考え方は「まちづくり」に限った考え方という訳ではなく、例えば、「自分の夢の実現」、「組織のあり方」、「地域の課題・解決」などさまざまなものの考え方にも利用できます。ぜひ、自己実現のツールとしても使ってみてください。

さて、再びまちづくりに戻りましょう。

昨年の広報8月号に掲載したとおなじ「協働のまちづくり」は、「地域課題」から始まります。

「地域課題」の発見には、やはり「地域での話し合い」が重要になります。コロナ禍で、なかなか集まらない状況ではありますが、皆さんが集まったときには、この「タイムマシン」を少し思い浮かべていただきながら、それぞれ「地域の未来」について、話題にしていたければと思います。



### 「協働のまちづくり」のプロセス

地域課題 → 話し合い（協議） → 事業活動（課題解決） → 評価

### 【楽しい地域活動】

現在は、社会情勢の変化やICT技術の進歩も早く、若い方からお年寄りまで多種多様な考え方が存在しています。インターネットで検索すればなんでも分かる時代ですので、年長者から教わることも少なくなりました。地域活動における若い方の参加率低下の一因になっているのかもしれませんが、ただ、「地域課題」は、そこに住む人の固有の課題ですので、いろいろな方が集まってさまざまな考えを互いに認め合いながら進めていくことも重要です。そのような意味では、「人材育成」という単純な言葉だけでなく、より積極的に「若い方の活動を支援していく」という考え方も必要になっているのかもしれませんが。

また、多様な時代ですので、近年の町内会や自治会などの担い手不足などに象徴されるように、「地域をまとめる人材」も少なくなっているようです。

このような状況だからこそ、まずはみんなで集まって「楽しい地域活動」について話してみるのはいかがでしょうか。